

Title	文書の嘘
Sub Title	
Author	松本, 芳夫(Matsumoto, Yoshio)
Publisher	三田史学会
Publication year	1933
Jtitle	史学 Vol.11, No.4 (1933. 2) ,p.114(620)- 114(620)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330200-0114

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

文書の嘘

管であつたこと、もしくはであらうことが、あつたこととして信じられることは往々にしてある。大正十二年一月刊東京書籍商組合員總目錄中の日進堂發行書目のうちに、今井登志喜氏著最近歴史學があり、定價も、郵税も、書目番號すらあげられてゐるにかゝはず、上野圖書館のカードにもみあたらず、館員の親切な調査によつても一向わからず、發行所への問合せにも要領を得ず、結局著者にたづねたところ、その返書によれば、公刊の豫定であつたが、震災のため遂に上梓するに至らなかつたのであるといふ。文書記録類を過信して事實でないことを事實と信じての努力は、まことに滑稽であるが、歴史の研究にはかういふことは絶無とは言へないであらう。さうして文書の嘘にもいろいろあるが、故意ならざる嘘、運命のいたづらによつて、力の不足によつて生じた誤は是非なきものとして恕せられねばならない。もし本誌の史學理論文献目錄中に誤謬があつても、さういふ誤謬としてゆるしてもらひたい。(松本芳夫)